



# 日高ロータリークラブ WEEKLY

2023-2024 R.Iテーマ  
世界に希望を生み出そう

## THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢 1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	清水佳代子	幹事	和田貴弘	会報委員長 上野宗久

### 第1856回例会 2023年9月26日(火)

2023年10月3日発行 第1668号

**本日のお客様** 小宮俊光様(寄居 RC)

**会長の時間** 清水佳代子会長

先日、地区より『米山梅吉記念館訪問研修旅行』のご案内が届きましたので、本日は米山記念奨学会についてお話しさせていただきます。東京ロータリークラブの初代会長であり“日本のロータリーの父”と称される米山梅吉氏は、生前「東南アジアに貢献したい！そして将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学したい」と考えていました。

昭和21年に米山氏が逝去され、その6年後の昭和27年、当時の東京ロータリークラブ会長吉沢氏が、米山梅吉氏の功績を記念して『米山基金』の創設を提案致しました。翌昭和28年から募金を開始、翌年に留学生第1号ソムチャード氏(タイ)を招聘したのです。ソムチャード氏は、東京大学で養蚕学を研究し、帰国してからはタイの蚕糸局に入局、タイシルクの増産に貢献しました。その後、第2号・3号はインドからの留学生を招致致しました。その後何度も変遷を重ね、現在の『公益財団法人ロータリー米山記念奨学会』となったのです。米山記念奨学金の創設の目的ですが、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に“平和日本”の理解を促すことにありました。留学生が平和を求める日本人と出会い、互いに信頼し合う関係を築き、『世界の懸け橋』となることを願ってつくられたのです。現在、年間の奨学生採用数は、約900人。事業費は約14億4700万円と、国内に於いて民間最大の国際奨学事業となっております。これまでに支援してきた奨学生数は、2022年7月現在の累計で22,875人となっております。その出身国は129の国と地域に及んでいます。私は、米山記念奨学会を創設したのは米山梅吉氏



※米山梅吉記念館：静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1

本人であるものと思っておりましたが、それは間違いでした。また、アジアからの奨学生に限定した制度と想っていたことも間違いであることが判明いたしました。ちなみに、米山梅吉記念館は静岡県にございます。皆様も、お時間のある時に訪ねてみてはいかがでしょうか。



### 幹事報告 町田秀雄副幹事

地区事務所より

- ・米山梅吉記念館訪問研修旅行案内  
11月5日(日)
- ・研修(ラーニング・RLI)セミナー案内  
9月30日(土) 14:00(13:30~登録開始)~16:30  
嵐山女性教育会館ヌエック

## 卓話 鈴木敏藏会員

今日は、以前もお話しさせて頂いた事もございますが、私の大好きな趣味の一つでもあります『ゴルフ』について、語らせて頂きます。

～ゴルフとの出会い～

私がゴルフに興味を持つきっかけとなったのは、学生時代に経験したアルバイト(キャディ)でした。久邇カントリークラブへは家から自転車で通い、狭山ゴルフクラブには八高線を使用して通いました。今でこそ大衆スポーツとなってきたゴルフですが、私がアルバイトをしていた当時、ゴルフを楽しんでいた方々は本当に凄い方ばかりでした。芸能人、代議士(政治家)等々…私はまだ中学生でしたので、「自分がゴルフをするようになる…」などと、夢にも思いませんでした。当時、5～6人の仲間と一緒にアルバイトに行っていたのですが、何にでも興味を持つ年頃です。楽しそうにプレーをしている人を見ると、自分もどんなものだから「球を打ってみたい！」となる訳です。ゴルフクラブは簡単に手に入りませんが、ゴルフボールは山の中に入れていくだけでもあるのです。それを皆でポケットに「これでもか！」というくらい詰めて拾ってきては貯めておくのです(笑)。そうするとやはりゴルフクラブが欲しくなるのです。しかし高額なこともあり、簡単に購入することは出来ません。そこで、「何かないか？」とゴルフ場の管理課建物の裏へ行くと、錆びたアイアンが捨てられているではありませんか！早速管理課のおじさんに「これ貰ってもいいですか？」と言ったら「いいよ」と言って下さり、尚且つ「もう少しましなものがあるか見てあげるよ」と言ってくれたのです。そうして頂いた初めての1本は、確か5番アイアンでした。ここで試し打ちをするのか？それは、そのアイアンを持って、皆で自転車に乗って巾着田へ行くのです。稲刈りが済んだ頃合いを見て…稲の切り揃えた株にちょうど球が乗るのです。その上に球を置いて、皆で順番にパーツと打つ訳です！これがまた気持ち良く飛んでいくのです。5人ぐらいで使い回しをして打つのですが、私が一番飛ばしていました(笑)。仲間たちと楽しく遊んだいい思い出です。

～教訓となる言葉～

ゴルフと出会い、たくさんの仲間と出会い、様々な競技会にも出場して参りました。「ゴルフとは実に奥の深いスポーツである…」と、歳を重ねれば重ねるほどおもいます。いろいろな意味で多角的に考えたいと、最近『YouTube』でゴルフに関する映像をよく見るようになりました。渡辺司プロの YouTube 動画(クラブセッティング、マネジメントの仕方など)が大変参考になります。いろいろな方が YouTube 動画をあげていますが、その中から自分に一番合っている、じっくりくる動画を見るのは大変勉強になると思います。プロゴルファーの方の打ち方、アプローチの仕方をそっくりそのまま真似しても上手くは行きませんが、経験値を重ねた分だけ話している事は分かります。そもそもプロの方と我々は身体が全く違います。どんなに上手なアマチュアの方でも、ラウンドをすればその違いは歴然とします。彼らとは技術面、体力面、全てに於いて次元が違います。そんな渡辺司プロの言葉で、記憶に残る大切な教えが2つございます。1.のびのびと打つ(プレーする)こと。2.ギャンブルを避け(危険を冒さず)出来ることを100%やること。それは、集中力と慎重さを引き出すことに繋がり、同時に『楽しむ』ことが重要という教訓なのかもしれません。そしてもう一人、中村寅吉プロの「無理をしない、出来る事をする」という言葉も教訓としていつも胸に刻んでおります。二人の言葉は、時代は違えど同じことを仰っているように感じます。そして「出来る事をする…」とは、まさにその通り。この言葉はゴルフに限らず人生にも通じます。商売、人付き合い、今自分が向き合っている事すべてに言えることであります。ゴルフを通して知り得たこと、これからの自分…ゆっくと、楽しみながら未来のことを考えたいと思います。



出席報告	9月26日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	9/5 修正率
	昼間	20	12	2	8	55.5%	61.1%

ニコニコボックス報告 13名 合計金額 13,000円 累計金額 105,000円